

第6回地域創生実践シンポジウム2022

「『誰一人取り残さない』ための地域創生—ごみ屋敷問題を例に—」を開催

9月11日(日) 於:横浜・金沢八景キャンパス

関東学院大学(本部:横浜市金沢区 学長:小山巖也)は、法学部地域創生実践研究所主催の第6回地域創生実践シンポジウム2022「『誰一人取り残さない』ための地域創生—ごみ屋敷問題を例に—」を9月11日(日)に横浜・金沢八景キャンパスにて開催します。

いわゆる「ごみ屋敷問題」は、周辺地域に衛生環境の悪化や悪臭といった影響を及ぼす一方、その原因者自身が精神的疾患や社会的孤立などの課題を抱えている場合も少なくありません。国の法制度による対応を待つだけでなく、自治体のごみ屋敷の原因者も含めた住民の安全な暮らしを確保するために取り組む必要があります。こうした取り組みも地域創生の一側面といえます。本シンポジウムでは、SDGsの「誰一人取り残さない」という理念のもと、ごみ屋敷問題を具体例に地域の課題を解決するための方策を一緒に考えていきます。

「誰一人取り残さない」ための地域創生—ごみ屋敷問題を例に— 概要

日時:9月11日(日)13:40~16:00 (2部制)

会場:横浜・金沢八景キャンパス 3号館2階 201教室

※第1部の基調講演のみオンライン視聴(Zoom ウェビナー)可能。

プログラム:13:50~14:35【第1部:基調講演】

「ごみ屋敷問題のいま ~再発ごみ屋敷を考える」

講師:出石 稔(法学部長・法学部地域創生学科教授)

14:45~15:55【第2部:事例報告及びパネルディスカッション】

・パネリストによる事例報告 加藤 眞道(横須賀市議会議員)、鎌倉市職員

・パネルディスカッション 加藤 眞道、鎌倉市職員、

大原 利夫(法学部地域創生学科長・教授)

申込方法:1~4の情報を記載の上、下記Eメールアドレスまでお申込み下さい。

1、お名前 2、ご所属 3、Eメールアドレス

4、第1部オンライン視聴ご希望の有無

chiiki@kanto-gakuin.ac.jp (担当:法学部・釧持)

※第1部オンライン視聴ご希望の方にはZoom ウェビナーのURL・パスコード等をメールにてお知らせいたします。

申込期限:2022年9月8日(木)17:00

お問合せ:関東学院大学 地域創生実践研究所 chiiki@kanto-gakuin.ac.jp

関東学院大学 概要

1884年横浜・山手に米国人宣教師が創立した横浜バプテスト神学校が源流。1949年の学制改革により関東学院大学となる。現在では、国際文化学部、社会学部、法学部、経済学部、経営学部、理工学部、建築・環境学部、人間共生学部、教育学部、栄養学部、看護学部の11学部を設置する総合大学。

学生数 10,988名(2022年5月現在)

学長 小山 巖也(こやま・よしなり)

取材等に関するお問合せ先

関東学院大学 広報課 日光

TEL:045-786-7049

FAX:045-786-7862

kouhou@kanto-gakuin.ac.jp